

2024年12月20日
株式会社ベネッセ i-キャリア

大学キャリアセンターの利用実態調査【学生調査】

キャリアセンターを利用している大学2、3年生は50.8%

就活において企業に評価して欲しいポイントは「人柄や性格」「熱意」に加え「汎用的スキル」が上位に

株式会社ベネッセホールディングスとパーソルキャリア株式会社の合併会社：株式会社ベネッセ i-キャリア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：乾 史憲）が運営する、[doda 発の新卒オファーサービス「doda キャンパス」](#)は、大学2、3年生、修士1年生（26卒、27卒）を対象に「学生のキャリアセンター利用実態に関する調査」を実施しましたので、結果をお知らせいたします。

解説コメント doda キャンパス編集長 岡本 信也

本調査では、大学2、3年生の約半数が大学キャリアセンター（以下、キャリアセンター）を利用しており、6割を超える学生が面接やエントリーシートのアドバイスなどの就活対策において、今後利用したい意向を持つことがわかりました。一方で、利用しない理由は「活用方法がわからない」が最多ではあるものの、「必要な情報は入手できている」「キャリアセンター以外に相談先がある」が上位にきており、自身の就活に主体性を持ち、情報収集や相談をしている学生が増加している様子が伺えます。

就活において企業に評価してもらいたいポイントについては、「人柄や性格」「熱意」といった資質や姿勢に加え、大学での学習や自己の学びを通じて身につけた「汎用的スキル」も評価して欲しいという意向が伺えます。これは、「大学キャリアセンターの学生キャリア支援における調査2024」^{※1}（以下、大学調査）における自大学の学生を評価して欲しいポイントと同様の結果になりました。

「doda キャンパス」が2024年10月～11月に実施した調査「自身の就活やキャリア観醸成に影響を与えた人や経験・体験^{※2}」では、就活本番期に相談したい相手の2位は「キャリアセンター職員」となり、卒業後の進路についてキャリアセンター職員に相談したい学生が一定数いることが明らかになっています。近年では、就活本番期の学生を対象とした就活支援プログラムに加え、低学年期からキャリア観を醸成することを目的としたプログラムを拡充する大学も増加しています。学生は自身の大学が提供するプログラム内容をしっかりと把握した上で、複数の相談先を活用しながら、納得感のある就活を進めていくことが大切です。

^{※1} https://www.benesse-i-career.co.jp/news/20241220_3release.pdf

^{※2} <https://www.benesse-i-career.co.jp/news/20241203release.pdf>

調査結果サマリー

【キャリアセンターの利用実態】

- ・キャリアセンターを利用している大学2、3年生、修士1年生は50.8%。
- ・利用目的は、1位「履歴書や面接のアドバイス」（38.4%）、2位「就活やインターンシップの相談」（33.3%）。
- ・利用したことがあるプログラムの1位は「進路・就活ガイダンス」（57.7%）、今後利用したいプログラムの1位は「就活対策（面接、エントリーシートなど）」（63.3%）で、それぞれ全体の約6割を占める。
- ・利用頻度で最も多いのは「1カ月に1回程度」（22.7%）。
- ・利用していない理由については、「キャリアセンターの活用方法がわからない」（35.9%）が最多、「就活に必要な情報は入手できている」（19.8%）、「就活についてキャリアセンター以外に相談先がある」（19.3%）が上位に。

【就活において企業に評価してもらいたい観点】

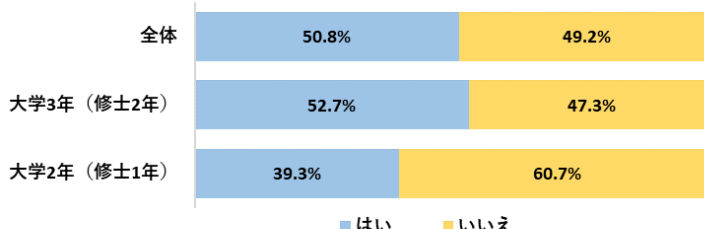
- ・就活において企業に自身を評価してもらいたい観点については、1位「人格や性格」（80.3%）、2位「志望企業への熱意」（46.4%）、3位「汎用的なスキル」（27.7%）という結果に。

主な調査結果

【キャリアセンターの利用実態】

▶利用有無

【図1】大学キャリアセンター利用有無 (n=390/単一回答)



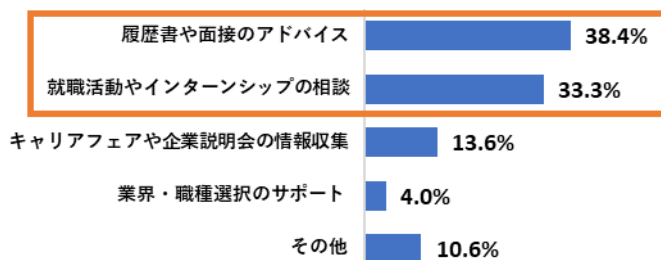
「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

「doda キャンパス」に登録している大学2, 3年生、修士1年生 (26卒、27卒) を対象に、キャリアセンターを利用しているか聞いたところ、「はい」と回答した学生は50.8%でした。学年別でみると、大学3年生の52.7%、大学2年生の39.3%がキャリアセンターを利用していることがわかりました。(【図1】参照)

▶利用目的

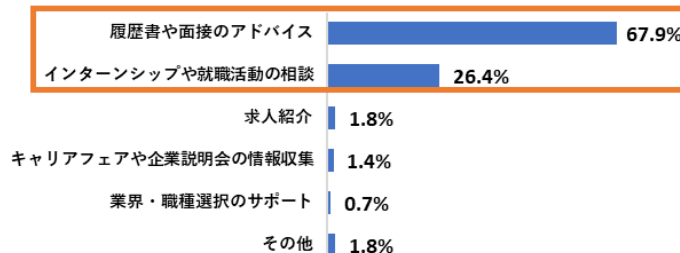
【図2】大学キャリアセンター利用目的

(n=198/単一回答)



「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

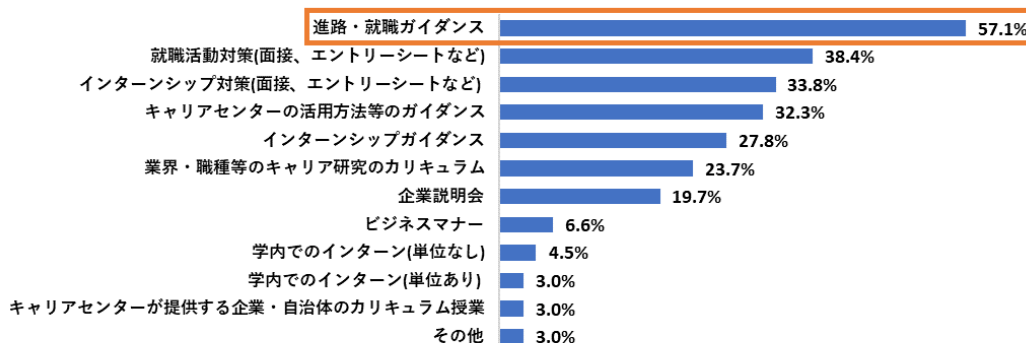
【図3】 (参考) 大学調査/学生のキャリアセンター利用目的 (n=277/単一回答)

ベネッセi-キャリア「まなぶとはたらをつなぐ研究所」
「大学キャリアセンターの学生キャリア支援調査2024」 (2024.12)

利用目的の1位は「履歴書や面接のアドバイス」(38.4%)、2位は「就活やインターンシップの相談」(33.3%)でした。これは大学調査における「学生のキャリアセンター利用目的」と同順位となりました。(【図2、3】参照)

▶利用したことがあるプログラム、今後利用したいプログラム

【図4】大学キャリアセンターで利用しているプログラム (n=390/複数回答)

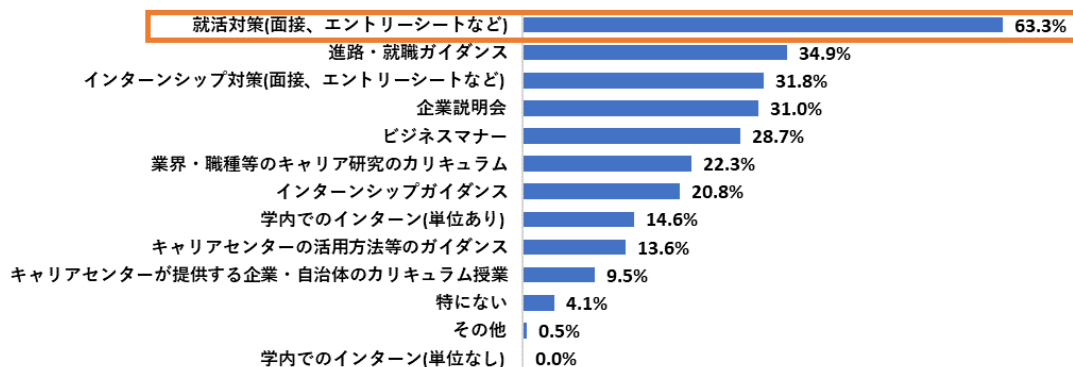


「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301

【図5】大学キャリアセンターで今後利用したいプログラム (n=390/複数回答)

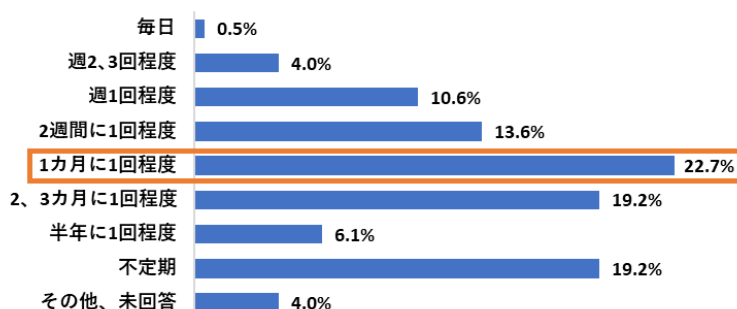


「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

利用したことがあるプログラムの1位「進路・就職ガイダンス」(57.1%)、今後利用したいプログラムの1位は「就活対策」(63.3%)で、それぞれ全体の約6割を占める結果となりました。(【図4、5】参照)

▶大学キャリアセンターの利用頻度

【図6】大学キャリアセンターの利用頻度 (n=198/単一回答)

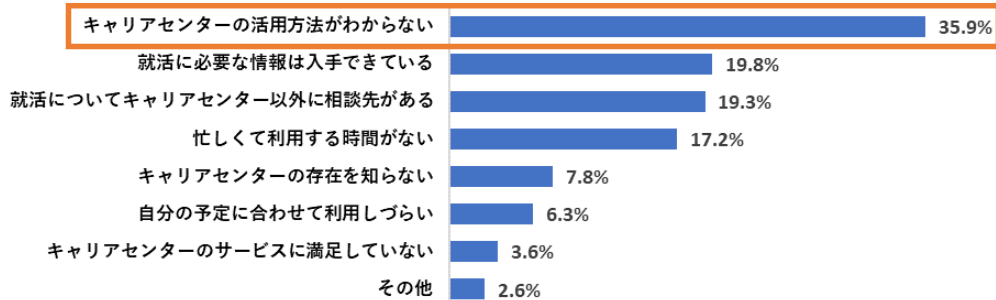


「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

利用頻度については、1位「1か月に1回程度」(22.7%)、2位は「2、3か月に1回程度」(19.2%)、「不定期」(19.2%)でした。(【図6】参照)

▶大学キャリアセンターを利用していない理由

【図7】大学キャリアセンターを利用していない理由 (n=192/複数回答)



「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

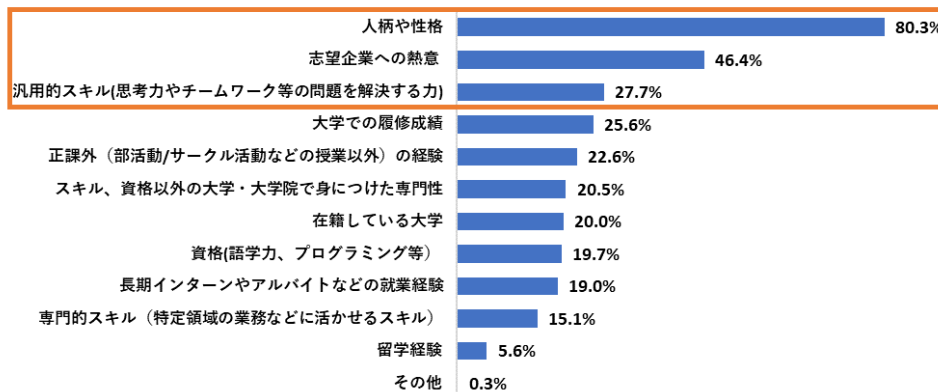
■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301

キャリアセンターを利用していないと回答した学生にその理由を聞いてみると、「キャリアセンターの活用方法がわからない」(35.9%)が最多となりました。一方で、「就活に必要な情報は入手できている」(19.8%)、「就活についてキャリアセンター以外に相談先がある」(19.3%)がそれぞれ約2割を占めています。(【図7】参照)

【就活において企業に評価してもらいたい観点】

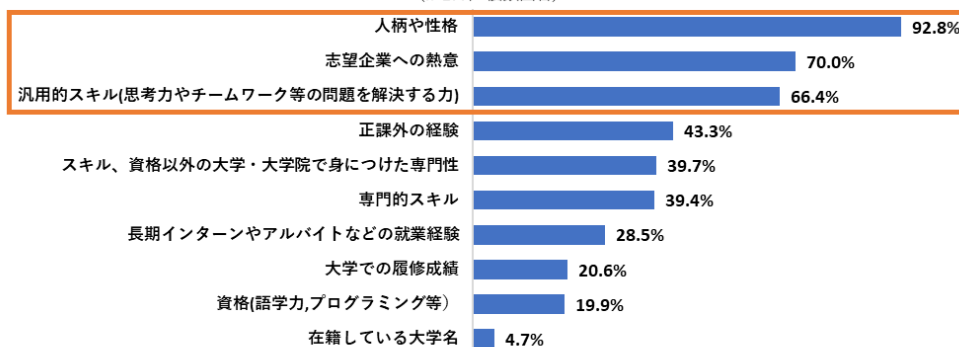
【図8】 就活において企業に評価してもらいたい観点 (n=390/複数回答)



「dodaキャンパス」 「大学キャリアセンター利用実態に関する調査2024」 (2024.12)

【図9】 (参考) 大学調査/就活において企業に自学生を評価してもらいたい観点

(n=277/複数回答)



ベネッセi-キャリア 「まなぶとはたらをつなぐ研究所」 「大学キャリアセンターの学生キャリア支援調査2024」 (2024.12)

就活において企業に自身を評価してもらいたい観点は、1位「人柄や性格」(80.3%)、2位「志望企業への熱意」(46.4%)、3位「汎用的スキル」(27.7%)となり、大学調査と同様の順位となりました。(【図8、9】参照)

【解説者プロフィール】 doda キャンパス編集長 岡本 信也

2006年、インテリジェンス(現パーソルキャリア)に入社。人材紹介事業に従事し、主に商社・不動産領域の法人営業として採用支援などを経験。その後、転職メディア事業において、中堅、中小企業を担当する法人営業組織のマネジメントに従事。2018年からベネッセi-キャリアに出向し、新卒オファーサービス「dodaキャンパス」の立ち上げを経験後、同事業部の営業部長を経て、2023年4月に事業本部長、doda キャンパス編集長に就任。



【調査概要】

調査期間：2024年10月28日(月)～11月3日(日)

調査対象：doda キャンパス会員の大学2、3年生、修士1年生(26卒、27卒)

■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301

調査方法：Web アンケート回答方式

有効回答数：390 人

■ **doda 発 新卒オファースervice「[doda キャンパス](https://campus.doda.jp/)」**について < <https://campus.doda.jp/> >

「[doda キャンパス](https://campus.doda.jp/)」は、学生が自身の努力や学び・経験などをデータベースに蓄積し、個性を可視化することにより、企業が自社のキャリア教育プログラムやインターン・採用選考等のオファーを送ることができる「doda 発 新卒オファースervice」です。2024 年 5 月時点で約 113 万 400 人の学生が登録をしており、国内最大級の学生データベースを保有しています。

■ **株式会社ベネッセ i-キャリア**について < <https://www.benesse-i-career.co.jp/> >

株式会社ベネッセホールディングスとパーソルキャリア株式会社が 2015 年 4 月に設立した合併会社です。株式会社ベネッセコーポレーションの大学教育事業部門とパーソルキャリア株式会社の新卒就職支援部門が一緒になりました。両社の力を最大限に活用して、大学の教育支援、学生の就活支援、および企業の採用支援を行う事業を推進しています。大学生向け教育事業と新卒学生に特化した就職支援事業を合わせることで、学生の力を伸ばし、学生が自分を活かせる職場に出会い、自らの力で社会に貢献できる人材になることを支援してまいります。教育事業と就職支援事業の一体的な運営を通じて「まなぶ と はたらく をつなぐ」ことを目指します。

■メディア関係者のお問い合わせ先 広報：中西 koho@persol.co.jp

■上記以外のお問い合わせ先 株式会社ベネッセ i-キャリア 電話番号：03-5320-1301